

## 《鋏のお手入れ方法》

大事なハサミ、  
皆さんお手入れしていますか？

ハサミの鋼材は  
ステンレスといえども金属です。

ご存知の通り、金属は錆びます。

金属にとって水と酸は天敵です。

サロンのお仕事はどちらもつきものですよね。

ということは、  
ハサミは常に錆びる状況におかれている  
ということになります。

ハサミを長くお使いいただくためには  
一日の仕事終わりにお手入れをすることです。

では、どうやってするのか。

次の手順でやってみてください。

(**ハサミは刃物**です。手を切らないように注意しましょう。)

①お手入れセット（セーム革とオイル）を用意する。



②ハサミを開いて、触点（写真の黒い部分）にオイルを塗る。



③ネジ部分にオイルを塗る。



④刃の裏スキ部分にオイルを塗る。



裏スキ部分に塗るのは刃を傷めないためです。  
間違っても、容器が刃に触れないようにしてください。  
非常に鋭い刃は、とても繊細なので傷つきます。

⑤ハサミを下向きにオイルを馴染ませるように数回開閉します。  
数回開閉したら、半閉じの開閉を数回繰り返します。

「下向きに」がポイントです。  
鉋体に挟まった髪の毛の切りくずが裏スキをしたたり落ちてきます。  
髪の毛が落ちやすいようにするコツはハサミを閉じきらないことです。

⑥オイルを馴染ませた後、セーム革を使って  
親指と人差し指でつまむように触点部分を拭き取ります。



⑦次に刃の部分を親指と人差し指でつまみ、  
刃元から刃先に向かって拭きます。



刃元から・・・



刃先へ。

この時が一番手を切りやすいので、注意してください。  
ポイントは、親指を上（峯から刃の方）に押すように動かすことです。  
慣れれば動かす必要はありませんが、  
間違っても刃に親指を乗せないようにしてください。

⑥と⑦を何度か繰り返して、  
静刃・動刃ともオイルが拭き取れたら終わりです。

刃を閉じきった状態で保管してください。

### ●セニングシザーのお手入れ方法

セニングの場合くし刃が厄介です。

手順はカットシザーと同じです。

棒刃はカットシザーの⑦の手順で拭いてください。

くし刃は親指と人差し指でつまんで、  
目立ての方向に引っ張るように拭いてください。



それを刃先から刃元へと満遍なく繰り返します。

裏返して同じことの繰り返しです。



つまんで・・・



引っ張る。

くしとくしの中の溝に入った髪の毛は相当曲者です。  
熱湯で洗ってしまったから水分をよ〜く拭き取り、  
オイルを塗って拭いても OK です。

「熱湯」もポイントです。  
熱湯の方が水やぬるま湯よりも蒸発し易いので、  
ハサミに水分が残りにくいのです。

いかがでしたでしょうか。

慣れれば簡単です。

何度も書きますが、手を切らないように注意してください。

ハサミは刃物です。

大切なハサミを末永くご愛用ください。



URL : [hikari-scissors.com](http://hikari-scissors.com)